

【ご参考資料】

2013年1月31日
野村アセットマネジメント株式会社

野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)の
投資対象である外国投資信託の副投資顧問会社「ING Asset Management B.V.」
における運用体制の変更について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」(以下「ファンド」)の投資対象である外国投資信託の副投資顧問会社であり、「新興国その他」におけるハイ・イールド債券の運用の一部を担当する「ING Asset Management B.V.」において運用体制の変更がありました。

2頁および3頁に、当該運用体制の変更について、外国投資信託の投資顧問会社である、「野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社」および、「アイエヌジー投信株式会社」が作成したレポートを掲載しましたのでご参照ください。

*アイエヌジー投信株式会社は、ING・インベストメント・マネジメント(ING IM)の日本拠点です。

「ING Asset Management B.V.」は、ING IMの主要運用会社の一社です。

今後とも「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

以上

2013年1月31日

野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社

**野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)の
投資対象である外国投資信託の副投資顧問会社(ING Asset Management B.V.)
における運用体制変更について**

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

このたび野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)が投資対象とする外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」の副投資顧問会社の一つである ING Asset Management B.V.(以下、ING 社)より、運用体制の変更についての連絡がありました(別添のレターをご参照下さい)。ING 社は、当該外国投資信託において「新興国その他」地域の運用の一部を担当しております。

野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーでは、さらに詳細な情報の収集に努めると共に、ING 社の運用状況について注視して参る所存です。

引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

当資料は、「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」(以下、ファンド)についてより良くご理解いただくことを目的として、ファンドの副投資顧問会社からの情報提供に基づいて野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー(NFR&T)が作成したものです。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された記述内容等は、特に断りのない限り当資料作成日時点の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

2013年1月31日

アイエヌジー投信株式会社

ING・インベストメント・マネジメント
エマージング債券運用チームにおける変更について

拝啓 平素は、格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ING・インベストメント・マネジメント* (ING IM)は、1月29日(オランダ時間)にプレスリリースを配信し、エマージング債券運用チームにおいて共同ヘッド2名とシニア・ポートフォリオ・マネジャー3名の計5名の退職を発表いたしました。

このうち、シニア・ポートフォリオ・マネジャーの1名は主に米ドル建てのソブリン債(国債等)に投資を行う商品の主担当者で、2名は主に現地通貨建て(新興国通貨建て)債券等に投資を行う商品(グローバルおよびアジア)の主担当者でした。

この退職に伴う影響への対応として、主に先進国の投資適格債を中心に運用を行うコア債券運用チームのヘッドがエマージング債券運用チームのヘッド代行を兼任いたします。同チームヘッド代行は、エマージング債券運用チームの全てのプロダクトに最終的な責任を持つとともに、主に米ドル建てソブリン債に投資を行う商品の主担当者となります。また、通貨運用チームのシニア・ポートフォリオ・マネジャー1名をエマージング債券運用チームに配属し、主に現地通貨建て債券等に投資を行う商品の主担当者に任命しました。なお、エマージング社債の運用につきましてはメンバーに変更はなく、従来どおりの体制で運用を継続いたします。

チームメンバーに上記の変更はございますが、オランダ(ハーグ)、米国(アトランタ)、シンガポールの3拠点によるマルチ・サイトの運用体制や、運用プロセスについては変更ございません。

ING IMでは、上記の対応により、今回の変更による運用への影響を最小限とすべく最善を尽くす所存です。また、外部からの採用を含め、引き続きエマージング債券運用チームの強化に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

*INGグループにおいて資産運用事業を主たる業務とする部門の総称です。アイエヌジー・アセット・マネジメント B.V. はING IMの主要運用会社の一社です。

本資料は、アイエヌジー投信株式会社が主にINGインベストメント・マネジメントの情報を基に作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。一般的または特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合があります。本資料記載の統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、アイエヌジー投信株式会社あるいはその関連会社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時における判断であり、予告なしに変更されることがあります。アイエヌジー投信株式会社とその関連会社等は、本資料の利用に起因する、いかなる直接・間接の損害にも責任を負いません。過去の成績は将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替ヘッジ手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の7本のファンドから構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く3つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆ 高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
 - ◆ 世界のハイ・イールド債券^{※1}を実質的な主要投資対象^{※2}とします。
 - ※1 当ファンドにおいて、ハイ・イールド債券とは、格付機関によって格付される債券の信用度でBB格相当以下に格付されている有価証券をいいます(先進国または新興国の政府、政府機関もしくは企業が発行する債券、資産担保証券、優先証券等を含みます。)
 - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆ 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
 - ・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」には、為替ヘッジ手法の異なる3つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替ヘッジ手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	外貨建資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
資源国通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	外貨建資産を、原則として対資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)で為替ヘッジ [※] を行いません。
アジア通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	外貨建資産を、原則として対アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)で為替ヘッジ [※] を行いません。

※保有する外貨建資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- ◆ 通常の状態においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
 - ※ 通常の状態においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・ハイ・イールド・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目標とします。
- ◆ 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
 - ◆ 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆ 円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象[※]とします。
 - ※ 「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆ 「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
 - ◆ ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

● 分配の方針

◆ 毎月分配型

原則、毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。
 なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
 ※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

◆ 年2回決算型

原則、毎年3月および9月の15日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
 分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

当資料は、ファンドに関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 各コースの運用にあたっては、「野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社(NFR&T)」に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 - ・ 投資対象とする外国投資信託において、NFR&Tが、ハイ・イールド債券の運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
 - ・ 副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、ハイ・イールド債券の運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
 - ・ NFR&Tは選定した副投資顧問会社及び外国投資信託全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

副投資顧問会社	主な担当地域
Nomura Corporate Research and Asset Management Inc. J.P. Morgan Investment Management Inc. FIL Investments International	米国
DWS Investment GmbH Amundi S.A. Schroder Investment Management Limited Schroder Investment Management North America Inc. Schroder Investment Management (Singapore) Ltd	欧州
UBS Global Asset Management (Americas) Inc. UBS Global Asset Management (Deutschland) GmbH UBS Global Asset Management (UK) Ltd ING Asset Management B.V. Standish Mellon Asset Management Company LLC	新興国その他
Wellington Management Company, LLP	米国、欧州、新興国その他

- ・ 出所：NFR&Tの情報に基づき野村アセットマネジメント作成
- ・ 上記の各副投資顧問会社は、平成24年12月28日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる可能性があります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成32年3月16日まで(平成22年4月23日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。【年2回決算型】年2回の決算時(原則、3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 【マネープールファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

円コース 資源国通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行
アジア通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨーク証券取引所・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、購入、換金の申込みの受け付けを行わないものとして委託会社が指定する日の場合

- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会

【当ファンドに係る費用】

(2013年1月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に4.2%(税抜4.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.819%(税抜年0.78%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.719%程度(税込) ※ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.5775%(税抜年0.55%)以内(平成24年12月7日現在年0.021%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、ファンドに関する租税、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドに関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。